

2016年 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 オーバル	代表者	室井 啓子	法人・ 事業所 の特徴	設立4年目になり、地域関係や家族関係も広がっている。毎日の外出先での会話に温かみを感じられ、関係機関や自治会とも協力し「認知症の勉強会」を実施することができた。又地域ボランティアさんとのふれ合いは楽しい思い出づくりの一役となっている。職員は専門のスキルを高めるため学んだ事や深めた事を発表し共有している。
事業所名	おーばる・ほーむ	管理者	室井 啓子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	5人	0人	1人	1人	2人	2人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の目標、スタッフ個人の目標を作る。チームで取り組むことを意識し、情報共有のため表現力を高め、読解力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのスキルに合わせた役割分担がされていて責任感も出てきている ・自由に発言できる雰囲気がある ・着実に成果を上げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の頻度を記録できると良い ・理解度がまちまちである事を認識した上で共有している。 ・達能な計画になっている。 ・質的表現を図ると良い 	①レーダーチャート式にして改善計画を各項目別に達成が可視化できるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・近隣住民にアンケート調査をする。それによって地域との関係性や課題を明確にして改善に向ける	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民へのアンケート調査が未定になっているが、近隣との関係ができてきている。 ・掃除が行き届いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板の設置によって場所がわかりやすくなった ・地域に開かれた事業所になろうと努力している ・利用者が安心してくつろいでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ①未決の調査を実施し委員会で報告する。 ②調査結果から事業所の課題を抽出し、目標や工夫改善に反映する。
C. 事業所と地域のかかわり	・近隣住民の意見を聞いて、看板や標識の設置を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板・看板の設置ができたことで分かりやすく親近感がもてる。 ・相談件数が増えている。PR不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能の事業内容が解り難い ・近隣商店とのバザー参加等、身の丈の企画をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ①小規模の実際の内容を説明し理解を深めてもらう。 ②居宅介護事業所へPRをする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・かかわったことを報告する。 ・アセスメントに具体的内容を取り入れて、暮らしマップを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしマップ作り」が不明。 ・実際にステップアップしている。 ・生き生きとした暮らしを支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係性を深めることを率先しておこなってほしい ・NO4の内容は厳しいのではないかな。 	①日々のモニタリングによって、生活の「暮らしのマップ作り」が広がり深めることで在宅生活の充実を図る
E. 運営推進会議を活かした取組み	・改善計画を、「即できる事、時間をかけて改善を図る」に分類し、随時推進委員会で検討を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・即対応する力がある。 ・会議の在り方が明確。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NO2に取り組むのは難しい ・現在の達成を精査してみると良い ・改善計画の進行状況を明確にすると課題解決に繋がる 	① 短期目標は6か月間、長期目標は12か月間にして達成評価を図る
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を年2回予定。 ①事業所のみで行う ②地域で行う訓練に参加する ・防護用をすぐ取り出せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用の備蓄にヘルメットとライフジャケットを追加している。 ・地域の訓練に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・地域・警察・消防署と連携して取り組む必要がある。 ・マニュアルがあるか解らない。 ・事業所としての対策が不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ① マニュアルを見える所に置く。 ② 3/11と9/1を事業所の防災訓練日にして備える